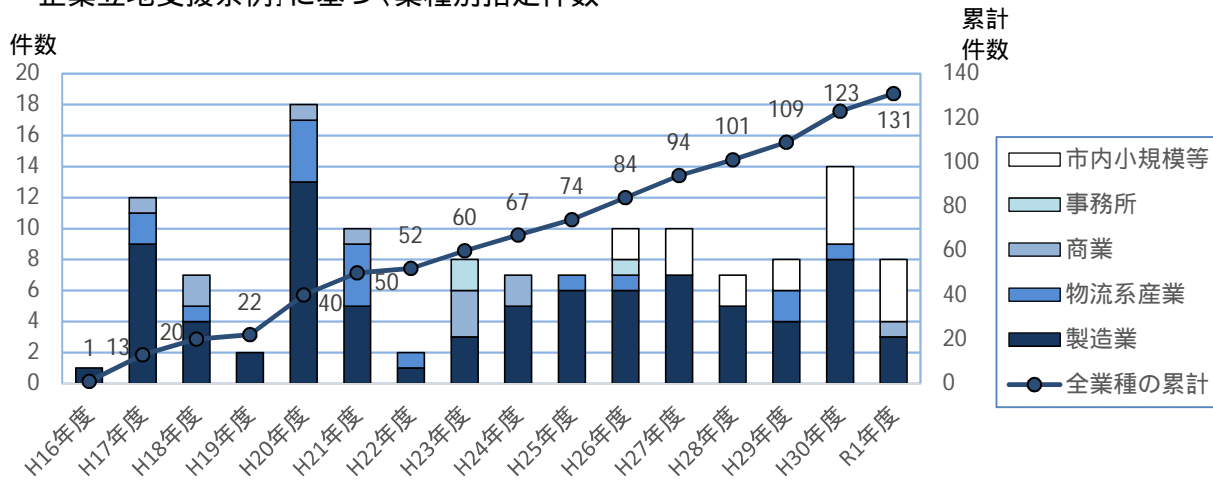


基本計画	5	施策番号	37	総合戦略		予算科目	7	1	1	産業振興部企業支援課	
事務事業名	企業立地の促進									説明書ページ	239
		事業費	国庫支出金	都支出金	市債	その他	一般財源				
予算	令和2年度(2020)	378,944		93,503		281,691	3,750				
	令和元年度(2019)	396,865		96,482		294,406	5,977				
	対前年	17,921		2,979		12,715	2,227				
平成30年度決算(2018)		406,291		89,703		316,588					
		事業費 + 職員費	職員費	会計年度任用職員(専門職)	会計年度任用職員(アシスタント職)	~ の計	・ は事業費に含む				
令和2年度(2020)		398,694	2.5人 19,750			19,750					
令和元年度(2019)		416,365	2.5人 19,500			19,500					

企業立地の促進を図るため、「企業立地支援条例」に基づき、指定企業に対して前年度に納めた固定資産税、都市計画税、事業所税相当額を奨励金として交付する。また、中小製造事業者の市外転出を防止するため、操業環境の改善を目的とした市内移転経費等の一部を補助する。

1 企業立地の促進		367,694
企業立地・雇用促進奨励金等	26件	366,094
市内雇用促進加算金	2件 11人	1,100
市内建設業者活用加算金	1件	500

「企業立地支援条例」に基づく業種別指定件数



2 企業流出防止		11,250
ものづくり企業地域共生推進助成金	3件	11,250
補助対象	市内ものづくり中小企業の市内での移転経費等	
補助率	3/4(限度額 375万円)	

< 企業立地・雇用促進奨励金等 9,444 >  
対象事業者の納税額の減

【事業効果】  
・ 市外企業の市内への移転を促進し、市内企業の立地継続を支援することによる、税収の増加及び雇用の創出  
参考 税収増加額 26.5億円(平成30年度(2018年度)実績)  
参考 企業誘致制度による立地支援企業目標数 令和4年度(2022年度) 145件(累計)('八王子ビジョン2022'目標値)

基本計画	5	施策番号	37・40	総合戦略		予算科目	7	1	1	産業振興部企業支援課	
事務事業名	(充)中小企業等の活性化支援									説明書ページ	239
		事業費	国庫支出金	都支出金	市債	その他	一般財源				
予算	令和2年度(2020)	55,583		8,240		40	47,303				
	令和元年度(2019)	51,972		5,261		42	46,669				
	対前年	3,611		2,979		2	634				
平成30年度決算(2018)	46,060		4,003		40	42,017					
		事業費+職員費	職員費	会計年度任用職員(専門職)	会計年度任用職員(アシスタント職)	~の計					
令和2年度(2020)	79,283	3.0人	23,700			23,700	は事業費に含む				
令和元年度(2019)	75,372	3.0人	23,400			23,400					

市内中小企業の創業から事業承継まで一体的な支援をするため、中小企業の人材育成や産学連携による新たな技術・製品の開発や事業拡大を支援する「サイバーシルクロード八王子」を八王子商工会議所との連携により運営する。また、新産業を創出するため「中小企業新商品開発認定制度」を実施し、認定商品のテストマーケティングにかかる経費を補助する。

本年度は、経営力向上支援補助金の補助対象に展示会ブースの装飾にかかる経費を追加するほか、新たに、市内中小企業の持続可能な事業運営を支援するため、代表者が50歳以上の市内中小企業を対象に事業承継に関するアンケート調査を行うとともに、事業承継セミナーを開催する。

1 経営力向上支援	7,184
IT活用セミナー講師謝礼	84
経営力向上支援補助金	7,100
補助対象経費	
(充) 展示会への出展小間代及び装飾費	
ホームページ作成・修正、ウェブマーケティング等のIT活用経費	
チラシ・パンフレット作成、広告宣伝費等	
経営力向上支援	
補助対象者 市内中小企業	
補助率 2/3(限度額 10万円 15万円 5万円)	
小規模事業者経営力向上支援	
補助対象者 市内小規模事業者	
補助率 3/4(限度額 10万円 15万円 7.5万円)	
2 サイバーシルクロード八王子負担金	24,798
人件費負担金	15,759
事業費負担金	9,039
3 サイバーシルクロード八王子運営	3,842
公共料金	540
共益費負担金	3,302
4 中小企業新商品開発認定制度の運営	1,260
主な経費	
認定制度懇談会参加者謝礼	100
認定商品カタログ等印刷製本費	310
技術審査等業務委託料	314
認定商品販路開拓支援補助金	480
補助対象 認定企業を対象とした販路開拓コーディネーター利用料等	
補助率 1/2(限度額 9.6万円)	

認定数 (単位 件)

区分	平成29年度 (2017)	平成30年度 (2018)	令和元年度 (2019)	計
商品	8	7	2	17
役員(サービス)	1			1
計	9	7	2	18

令和元年(2019年)12月末時点

- 5 中小企業の海外展開支援 3,668
- 海外展開セミナー講師謝礼 168
  - 海外展開事業支援補助金 3,500
  - 補助対象 市内中小企業が実施する海外展開に関する市場調査、外国語版Webサイト作成、越境電子商取引用サイト構築等の海外展開にかかる経費
  - 補助率 2/3(限度額 50万円)

- 6 創業支援 375
- 創業支援アドバイザー謝礼 375
  - 対象者 「サイバーシルクロード八王子」が実施する創業セミナー(本気の創業塾)の受講生
  - 内容 創業に関する課題の解決に向けたアドバイス(3回まで無料)

- (新) 7 中小企業の事業承継支援 4,566
- 事業承継セミナー講師謝礼 42
  - 市内中小企業の現状調査業務委託料 4,524
  - 対象者 代表者が50歳以上の市内中小企業
  - 対象業種 全業種
  - 調査方法 市内中小企業のうち、2,600社程度を抽出し、アンケート調査を実施

スケジュール

区分	令和2年度 (2020)	令和3年度 (2021)	令和4年度 (2022)
アンケート調査	→		
セミナー開催		→	→

テストマーケティング

新商品を販売するにあたり、想定市場の絞り込み、新商品の市場投入の適否や競合商品の確認等を行い、市場への足掛かりをつかむこと

越境電子商取引

インターネットを使った国境をまたいだ商取引。企業が電子商取引を行う場合、電子商取引サービスを利用できる国内・海外のWebサイトに出店するか、自社で外国語版Webサイトを構築することが必要。海外に直接支店を置かずに始められるため、初期費用を抑えて販売圏を広げることが可能

【事業効果】

- ・ 市内中小企業等が新商品のPRを行うことによる新規顧客の獲得  
経営力向上支援補助金交付決定数 49件(令和元年度(2019年度)実績)
- ・ 地域経済の活性化、市内産業の振興  
参考 「サイバーシルクロード八王子」が実施する本気の創業塾の事業実績  
(平成17～30年度(2005～2018年度)の事業実績)  
未創業者受講人数 327人 創業人数 125人 創業率 38.2% 事業継続率 84.0%
- ・ 市内中小企業の新たな分野の製品・サービスの開発促進と海外進出も含めた販路拡大
- ・ 現状を把握し、適切な支援へつなげることによる市内中小企業等の円滑な事業承継の促進

基本計画	5	施策番号	39	総合戦略		予算科目	7	1	1	産業振興部企業支援課	
事務事業名	先端ものづくり支援									説明書ページ	239
		事業費	国庫支出金	都支出金	市債	その他	一般財源				
予算	令和2年度(2020)	24,512		5,757		3,080	15,675				
	令和元年度(2019)	33,202		5,757		1,718	25,727				
	対前年	8,690		0		1,362	10,052				
平成30年度決算(2018)		24,165		4,103		978	19,084				
		事業費+職員費	職員費	会計年度任用職員(専門職)	会計年度任用職員(アシスタント職)	~の計	・は事業費に含む				
令和2年度(2020)		49,002	3.1人 24,490		0.8人 1,713	26,203					
令和元年度(2019)		57,382	3.1人 24,180		0.7人 1,562	25,742					

高度な技術力を持つ企業が集積する本市の強みを活かした産業振興を図るため、製造業を中心に産産・産学連携や技術力向上の支援を行う「新産業センター」を運営する。また、市内中小企業と大学等とのネットワーク構築を促進し、市内産業の活性化を図るため、市内中小企業と大学との産学連携による研究・開発に対して補助する。

1 新産業センター経費 14,497

主な経費

会計年度任用職員(アシスタント職)報酬等 1,713  
 新産業開発・交流センター施設賃借料 6,965  
 新産業創出センター研究開発補助金 1,000  
 補助対象 入居者が自ら行う新製品、新技術等の研究開発に係る経費  
 補助率 10/10(限度額20万円)

2 技術力向上支援 10,015

事業評価懇談会参加者謝礼 15  
 産学連携による研究・開発費等補助金 10,000  
 補助対象経費 産学連携による研究開発事業に係る経費  
 技術力向上支援  
 補助対象者 市内中小企業  
 補助率 産学連携事業 2/3(限度額150万円)  
 機器利用等事業 1/2(限度額10万円)  
 小規模企業産学連携促進  
 補助対象者 市内小規模企業  
 補助率 産学連携事業 3/4(限度額150万円)

新産業開発・交流センター

相談員(企業OB)による企業訪問や技術相談、先端的な技術情報の普及のためのセミナー開催、会議室の貸出業務等を行う施設

新産業創出センター

社会的課題の解決に重点を置いたベンチャー企業、または新たな分野への展開を目指す企業等に研究開発スペースを提供し、新製品や新技術開発に向けた研究活動を支援する施設

【事業効果】

・ 中小企業の技術的課題の解決や技術の高度化、製品の高付加価値化による市内企業の技術水準の向上、国際競争力の強化

参考 中小製造業の市内事業所数の伸び率

平成30年度(2018年度) 市:0.98 全国:0.98

令和4年度(2022年度) 全国の伸び率を0.03上回る(「八王子ビジョン2022」目標値)

基本計画	5	施策番号	41	総合戦略		予算科目	7	1	1	拠点整備部市街地活性化課	
事務事業名	中心市街地の活性化									説明書ページ	241
		事業費	国庫支出金	都支出金	市債	その他	一般財源				
予算	令和2年度(2020)	17,927					17,927				
	令和元年度(2019)	17,762					17,762				
	対前年	165					165				
平成30年度決算(2018)		11,260					11,260				
		事業費+職員費	職員費	会計年度任用職員(専門職)	会計年度任用職員(アシスタント職)	~の計	・は事業費に含む				
	令和2年度(2020)	61,377	5.5人 43,450			43,450					
	令和元年度(2019)	66,122	6.2人 48,360			48,360					

中心市街地の回遊性・滞留性を高め、にぎわいを創出するため、「八王子市中心市街地活性化基本計画」に基づき、空き店舗対策やまちの魅力づくり等に取り組む。

1 中心市街地現況調査 5,419  
 中心市街地歩行量調査委託料 4,785  
 中心市街地来街者等アンケート調査業務委託料 634

2 中心市街地活性化促進 6,636  
 主な経費  
 空き店舗改修費補助金 10 12店舗 6,000  
 補助対象 中心市街地の空き店舗への出店に係る改装費  
 補助率 10/10(限度額50万円)

3 中心市街地魅力づくり支援 4,634  
 主な経費  
 おもてなし通信環境(Wi-Fi)管理委託料 2,596  
 中心市街地魅力づくり支援補助金 2,000  
 補助対象 商店街等の組織、又はその組織と連携した民間事業者等が行うまちの魅力を創造する事業  
 補助率 4/5(補助上限額 250万円)  
 実施事例 滞留拠点の整備(ベンチ、植栽等)等



中心市街地の魅力を高める取組を支援(滞留拠点の整備)

< 参考 >  
 中心市街地で実施する主な事業については、14・15ページ参照

**【事業効果】**

- ・「八王子市中心市街地活性化基本計画」に掲げた目標「歩きやすく憩いやすいまち」「新たな老舗を生み出すまち」「買い物するのが楽しくなるまち」の実現
  - ・民間事業者が実施する公共性の高い取組を支援することによるまちの魅力の向上、活性化
- 参考 中心市街地の歩行者通行量(駅近辺を除く地点での平休日平均)  
 平成30年度(2018年度) 125,644人  
 令和4年度(2022年度) 128,764人(「八王子市中心市街地活性化基本計画」目標値)

基本計画	5	施策番号	41	総合戦略		予算科目	7	1	1	産業振興部産業政策課	
事務事業名	MICEの推進									説明書ページ	241
		事業費	国庫支出金	都支出金	市債	その他	一般財源				
予算	令和2年度(2020)	55,079					55,079				
	令和元年度(2019)	54,779					54,779				
	対前年	300					300				
平成30年度決算(2018)		41,698					41,698				
		事業費+職員費	職員費	会計年度任用職員(専門職)	会計年度任用職員(アシスタント職)	~の計	・は事業費に含む				
	令和2年度(2020)	61,399	0.8人 6,320			6,320					
	令和元年度(2019)	61,019	0.8人 6,240			6,240					

本市の魅力ある資源を活用したMICE誘致戦略を推進するため、(公社)八王子観光コンベンション協会に対して補助する。  
 本年度は、MICE誘致・開催への理解を深めるためのシンポジウムや事業者ネットワークの拡大に向けたセミナーを開催する。また、大学教授等の市内の人材を活かしたMICE誘致を押し進めるほか、MICE開催を支援する。

八王子観光コンベンション協会補助金 55,079  
 人件費 23,664  
 MICE推進活動費 29,623  
 主な内容 シンポジウムの開催、MICE普及啓発冊子・ロゴマークの制作等  
 MICE開催支援費 1,792  
 内容 開催補助金の交付

スケジュール

会議・イベント名	日程	参加者数	開催場所
第63回日本神経科化学会	令和2年(2020年) 9月10~12日	600人	芸術文化会館(いちようホール)
(一社)全国中小企業勤労者福祉サービスセンター令和2年度東ブロック会議	令和2年(2020年) 10月8・9日	130	学園都市センター
日本美容福祉学会第20回学術集会	令和2年(2020年) 10月	430	山野美容芸術短期大学
日本児童文学学会第59回研究大会	令和2年(2020年) 11月14・15日	140	学園都市センター

**【事業効果】**  
 ・ 中心市街地をはじめとした市域への誘客によるにぎわいの創出  
 ・ 市内のイベントや体験事業と連携することによるMICE参加者への観光PR  
 ・ MICE開催による地域産業や経済の活性化  
 参考 MICE開催による市内経済波及効果額(見込)  
 令和2年度(2020年度) 約5,400万円(上記5事業のMICE開催)

基本計画	5	施策番号	41	総合戦略		予算科目	7	1	1	産業振興部産業政策課
事務事業名	(充)商店街の振興								説明書ページ	241
		事業費	国庫支出金	都支出金	市債	その他	一般財源			
予算	令和2年度(2020)	57,000		30,739					26,261	
	令和元年度(2019)	56,317		31,882					24,435	
	対前年	683		1,143					1,826	
平成30年度決算(2018)		40,246		22,786					17,460	
		事業費+職員費	職員費	会計年度任用職員(専門職)	会計年度任用職員(アシスタント職)	～の計				
令和2年度(2020)		69,640	1.6人 12,640			12,640			・は事業費に含む	
令和元年度(2019)		68,797	1.6人 12,480			12,480				

市内商店街の活性化を図るため、意欲のある商店街や商店街の連合会が実施するイベント事業及び商店街案内板設置等の活性化事業に対して補助する。また、活性化の担い手となる人材を育成するため、意欲とアイデアを持つ個店グループが実施するイベント事業に対して補助する。本年度は、商店街の利用者が安心して買い物できる環境を確保するため、商店街が行う防犯カメラの設置に要する経費に加え、新たに維持管理にかかる保守点検費、修繕費の一部を補助する。

1 はばたけ商店街事業補助金 52,992

区分	対象区分	補助率	補助限度額	実施予定	補助金額
イベント事業	中心市街地エリア	2/3以内	666千円	66事業	44,672千円
	その他エリア		800		
	商店街の連合会		3,000		
	八王子商工会議所	1/2以内	1,000		
	中心市街地エリア( )	1/2以内	500	3商店街	1,500
活性化事業	商店街等	2/3以内	30,000	4事業	6,820

補助対象 3つ以上の商店街が共催して行う、まちのにぎわいに資するイベント事業

2 輝く個店グループ支援 1,088

主な経費

輝く個店グループ支援事業補助金 1,000

補助対象 市内に店舗又は事業所を有する中小小売商業者等で、原則3者以上で活動しているグループが実施する共同販促事業にかかる経費

補助率 1/2以内(限度額 50万円)

(充) 3 商店街防犯カメラ設置等補助金 2,000

商店街防犯設備整備等事業補助金 2,000

補助対象 防犯カメラ設置経費

(新) 当該補助金で設置した防犯カメラの保守点検・修繕費

補助率 設置経費 2/3以内(限度額 250万円)

保守点検・修繕費 5/6(限度額 保守点検費 1.7万円/台、修繕費 40万円/台)

<関連事業> 町会・自治会活動支援(総務費) 74ページ

町会・自治会防犯カメラ設置経費補助金

【事業効果】

・東京2020大会及び産業交流拠点の整備にあわせた商店街環境整備による市内産業活性化

・来街者の増加による商店街の売り上げ向上

参考 小売業年間商品販売額

平成30年度(2018年度) 756億円

令和4年度(2022年度) 805億円(「八王子市中心市街地活性化基本計画」目標値)

基本計画	5	施策番号	36	総合戦略		予算科目	7	1	1	産業振興部産業政策課・企業支援課	
事務事業名	地域産業振興推進									説明書ページ	241～243
		事業費	国庫支出金	都支出金	市債	その他	一般財源				
予算	令和2年度(2020)	4,333					4,333				
	令和元年度(2019)	4,899					4,899				
	対前年	566					566				
平成30年度決算(2018)		3,282					3,282				
		事業費+職員費	職員費	会計年度任用職員(専門職)	会計年度任用職員(アシスタント職)	～の計	・は事業費に含む				
令和2年度(2020)	18,553	1.8人	14,220			14,220					
令和元年度(2019)	18,939	1.8人	14,040			14,040					

地域の資源を活かした産業振興の推進を図るため、産業振興参与からの助言を受け、各産業分野の振興策を検討する。また、産業振興推進にかかる人材育成を図るため、中小企業庁への職員派遣を継続するほか、様々な分野の社会的課題の解決を図るため、ソーシャルビジネスの普及・啓発に取り組む。

- 1 産業振興参与報酬 1,560  
 産業振興参与報酬 1人 1,560
- 2 ソーシャルビジネス支援 633  
 主な経費  
 ソーシャルビジネス人材育成セミナー講師謝礼 600  
 スケジュール

区分	令和元年度(2019)	令和2年度(2020)	令和3年度(2021)	令和4年度(2022)
普及期	庁内連携会議	→		
	セミナー開催			→
	事業化支援			→
発展期	事業化展開支援			→

- 3 地域産業振興推進事務費 2,140  
 主な経費  
 中小企業庁派遣職員等出張旅費 1,313  
 地域産業振興推進事務消耗品費 513

#### 産業振興参与

(公社)八王子観光コンベンション協会等産業振興機関と地域が協力して行っている事業を主導するとともに、観光や産業資源を活用した体験事業の創出・提供やMICE誘致等の競争優位性の高いシティセールスを積極的に推進

#### ソーシャルビジネス

環境、地域活性化、高齢化社会、子育て支援、貧困などといった様々な社会的課題を市場としてとらえ、持続可能な経済活動を通して問題解決に取り組む事業

#### 【事業効果】

- ・ ソーシャルビジネス推進による社会的課題の解決、軽減
- ・ ソーシャルビジネス推進による新たな雇用・市場創出への発展
- ・ 中小企業庁への職員派遣による国及び産業振興機関との人脈形成



基本計画	5	施策番号	41	総合戦略		予算科目	7	1	2	産業振興部観光課	
事務事業名	(充)観光資源情報の活用								説明書ページ	243	
		事業費	国庫支出金	都支出金	市債	その他	一般財源				
予算	令和2年度(2020)	54,591				5,164	49,427				
	令和元年度(2019)	36,975		527		5,146	31,302				
	対前年	17,616		527		18	18,125				
平成30年度決算(2018)	39,794		341		5,157	34,296					
	事業費+職員費	職員費	会計年度任用職員(専門職)	会計年度任用職員(アシスタント職)	~の計						
令和2年度(2020)	69,601	1.9人 15,010			15,010		・は事業費に含む				
令和元年度(2019)	50,235	1.7人 13,260			13,260						

観光スポット・イベント・物産等の観光資源の情報を市内外へ向けて発信するため、観光マップの作成や観光情報拠点の運営を行う(公社)八王子観光コンベンション協会に対して補助する。また、東京2020大会を契機とした外国人観光客の誘致を強化するため、関連市及び関東観光広域連携事業推進協議会と連携し、「高尾山・リニア地区事業」を行う。

本年度は、東京2020大会を契機に増加する外国人観光客の対応をより充実させるため、八王子インフォメーションセンター及び高尾山口観光案内所の人員体制を強化する。

1 観光マップの作成 5,863  
 観光マップ等作成事業補助金 5,863

2 外国人観光客の誘致 5,450  
 主な経費  
 関東観光広域連携事業推進協議会「高尾山・リニア地区事業」負担金 5,000

主な事業

観光情報を集約した英語版Webサイトのコンテンツ拡充、外国人向け観光スポット・体験型コンテンツのモデルコース開発、旅行会社営業用のデジタル版ガイドブックの制作、SNS等を活用したオンライン広告及びゲートウェイでの観光プロモーション

(充) 3 観光情報拠点の運営 39,497  
 主な経費

インフォメーションセンター運営事業補助金 39,333  
 八王子インフォメーションセンター 7 8人  
 高尾山口観光案内所 10 12人

【事業効果】

- ・観光客の満足度向上
- ・観光客数増加による交流人口の増加、地域経済の活性化

参考 観光客数の実績及び目標値

令和2年度(2020年度) 830万人

令和4年度(2022年度) 849万人(「八王子ビジョン2022」目標値)

基本計画	5	施策番号	41	総合戦略		予算科目	7	1	2	産業振興部観光課	
事務事業名	(充)一般観光の推進								説明書ページ	243	
		事業費	国庫支出金	都支出金	市債	その他	一般財源				
予算	令和2年度 (2020)	72,566				3,816	68,750				
	令和元年度 (2019)	64,370				686	63,684				
	対前年	8,196				3,130	5,066				
平成30年度決算 (2018)		66,211				2,710	63,501				
		事業費 + 職員費	職員費	会計年度任用職員 (専門職)	会計年度任用職員 (アシスタント職)	~ の計					
	令和2年度 (2020)	92,316	2.5人	19,750		19,750	・ は 事業費に含む				
	令和元年度 (2019)	81,530	2.2人	17,160		17,160					

観光地の魅力向上を目指した観光振興を推進するため、(公社)八王子観光コンベンション協会に対して人件費を補助するほか、情報発信の拠点となる事務所を中心市街地に構えることで、MICE推進や観光客誘致による観光振興を推進するとともに地域経済の好循環を図る。

本年度は、東京2020大会開催後の持続的な観光産業の発展に向け、観光事業のノウハウと実績を持つ(公社)八王子観光コンベンション協会の人員体制を強化する。

(充) 1 八王子観光コンベンション協会補助金	65,841
人件費	64,284
観光部門人員 4 5人	
運営費	1,557
2 八王子観光コンベンション協会事務所管理費	6,363
主な経費	
清掃委託料	609
建物借上料	5,441

**【事業効果】**

- ・ 中心市街地を拠点とした観光客誘致や情報発信の実施による観光振興の推進
- ・ 観光客数増加による交流人口の増加、地域経済の活性化
- ・ (公社)八王子観光コンベンション協会との連携による観光地域づくりの推進

基本計画	5	施策番号	42	総合戦略		予算科目	7	1	2	産業振興部観光課	
事務事業名	(充)新たな観光資源の整備								説明書ページ	243～245	
		事業費	国庫支出金	都支出金	市債	その他	一般財源				
予算	令和2年度(2020)	14,224		6,300			7,924				
	令和元年度(2019)	3,949		38			3,911				
	対前年	10,275		6,262			4,013				
平成30年度決算(2018)		5,129		335			4,794				
		事業費+職員費	職員費	会計年度任用職員(専門職)	会計年度任用職員(アシスタント職)	～の計					
令和2年度(2020)		26,074	1.5人 11,850			11,850	・は事業費に含む				
令和元年度(2019)		13,309	1.2人 9,360			9,360					

地域の観光資源を活かし、交流人口の増加や地域経済の活性化を図るため、八王子の食文化の魅力を伝えるフードフェスティバルを実施するほか、滝山三城の観光資源としての魅力を活かした誘客を促進するため滝山城マップの配布を行う。

本年度は、東京2020大会を契機に増加する観光客等に本市の多様な魅力を伝えるため、(公社)八王子観光コンベンション協会や大学、企業等と連携し、体験学習フェスティバルを高尾山全体で実施するほか、令和3年度(2021年度)に滝山城が築城500年を迎えることを記念し、プロモーション活動やイベントを通して滝山城跡の保存活用などの機運を高めるとともに後世にレガシーとして継承するため、地域団体と連携し、滝山城築城500周年記念イベントを実施する。

- (充) 1 観光産業振興事業の推進 4,000
- フードフェスティバル実行委員会負担金 1,000
  - 総事業費 3,600
  - 会場 西放射線コーロード
  - 開催時期 令和2年(2020年)10月
  - (充) 体験学習フェスティバル実行委員会負担金 3,000
  - 総事業費 4,002
  - 会場 高尾山全体
  - 開催時期 令和2年(2020年)7月
- (充) 2 国史跡滝山城跡周辺の観光資源活用 10,224
- 主な経費
- 滝山三城マップ印刷費 154
  - 滝山城跡観光案内アプリシステム保守委託料 509
  - (新) ARアプリスポット増設委託料(10 12箇所) 3,135
  - (新) 滝山観光まちおこし実行委員会負担金 4,385
  - 総事業費 8,170
  - 内容 滝山城築城500周年記念イベント  
(北条氏照キャラバン隊、チャンバラ合戦等)

**【事業効果】**

- ・ 新たな観光資源の発掘や観光資源を活用した本市の魅力の発信による、まちのにぎわいや産業の創出
- ・ 「続日本100名城」に選定された滝山城跡をはじめとした観光資源の発掘による観光資源の魅力の向上
- ・ 観光客数増加による交流人口の増加、地域経済の活性化
- ・ 観光資源を通じた郷土愛の醸成と後世へのレガシー継承